

GIGA スクール通信

G I G A…Global and Innovation Gateway for All



今号担当：教育課程担当

今回は、応募のあった実践例の中から、中学校の理科の実践を紹介します。レポートの作成や評価の工夫など、他校種、他教科でも参考にできるかと思えます。

○明園中学校 2年理科の実践

明園中学校 2年理科「生物の体のつくりと働き」という単元の終末の場面において、「生物の面白さを紹介する資料作り」というレポート作成を行った学習活動です。ドキュメントでレポート作成、スライドで発表・交流、フォームで相互評価を行いました。生徒向けに Classroom のループリック機能で評価の視点を示し、教師の評価場面では「盗用（独自性）の確認」の機能等を活用し、適切に評価と生徒へフィードバックを行いました。

活用のポイント

- ・フォームで相互評価
- ・Classroom における評価機能



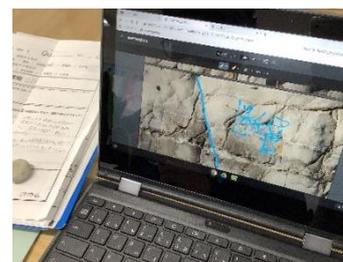
授業者の芳賀大二郎先生は、オンライン上で活発な意見交換ができることや、お互いのレポートを評価し合うことで、単元の学習内容を幅広くかつ深く学ぶことができ、さらに、主体的に自己の学びを調整することができる可能性を感じたとのことです。

○中央中学校 1年理科の実践

中央中学校 1年理科「大地の成り立ちと変化」という単元における「理科教育センター」のサイトを活用した地層観察の事例です。授業の導入で、Classroom に貼り付けた URL からアクセスし、サイト上で観察を行いました。その後、断層や隆起などの大地の変化や地層の堆積について学習し、学習のまとめとして再度観察を行いました。1時間目のワークシートと比較することで、自己の変容を実感しながら学ぶことができました。授業者の黒川陽介先生からは、時間や空間を越えて教室でも即時観察が可能なことや、書き込みやスワイプ（拡大）をすること等ができ、現地調査と比べてもそんな色なく、詳細に観察できたとの利点が挙げられていました。

活用のポイント

- ・自分の変容を実感
- ・自己の学びの調整を図る



また、3年理科では、ミライシードの「オクリンク」を活用してプレゼンテーション資料を作成し、「放射線との向き合い方」についてディベートを行った実践報告もありました。モデル校として既に「オクリンク」を活用しておりますが、教師や生徒間での共有が容易にでき、思考段階で困っている生徒への支援や相互評価が適宜行えるので、学び合いが活性化されるとともに、自己の学びの調整を図ることができたとのことです。



※今回紹介した実践も含め、これまで応募いただいた実践については、校務支援システムのキャビネット (000_GIGA スクール関連/500_1人1台端末活用実践例) に格納しております。今後も、実践の応募お待ちしております。